

対政府交渉 in 福島

避難の権利確立を求めて

福島市や市民団体の調査により、避難区域外においても放射能汚染が広がっている実態が明らかになってきました。既に、子どもたちの被ばく量は1ミリシーベルトの数倍にも達しており、福島県内でも、早急に避難・疎開、夏休みの前倒し等の被ばくの低減を、行政が主導して行うべきです。

福島には、避難をしたくてもできない人たちがたくさんいますが、避難を阻んでいる大きな理由の一つが、「自主」避難のむずかしさや限界にあります。住民の「避難の権利」、すなわち自らの被ばくのリスクを知る権利や、自主避難した場合に補償等が受けられる権利を確立させていくための措置が必要です。

今回、日本政府に、避難を促進していくことを求める要請を行います。

2011年7月19日（火）13:00～16:30

13:00～14:00 事前集会（交渉に向けた打ち合わせ）

14:00～16:00 政府との交渉

16:00～16:30 事後集会（今後に向けて）

コラッセふくしま 4F 多目的ホール

福島駅西口徒歩3分



参加費：

無料

申込み

申込みしなくても参加できます。

人数把握のため、メールまたはファックスにて、件名を「政府交渉 in 福島参加」として、①ご氏名、②ご住所、③メールアドレス、④電話番号を下記宛にお送りください。

E-mail : finance@foejapan.org / FAX.03-6907-7219

主催：

子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク

福島老朽原発を考える会（フクロウの会）

国際環境 NGO FoE Japan

グリーン・アクション

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン

問い合わせ先：

国際環境 NGO FoE Japan

TEL. 03-6907-7217（平日のみ）

携帯：090-6142-1807（満田）

2011年6月30日

原子力災害対策本部
本部長 菅 直人 様

子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク
代表 中手 聖一

福島の子どもたちを放射能から守るため、疎開や避難を含むあらゆる対策をとってください

菅総理、すべての福島の子どもたちを放射能から守る責任者は、もはやあなたしかなくなってしまいました。

（中略）

私たちはあなたを信じます。勇気を出して、福島の子どもたちを放射能から守るため、疎開や避難を含む、以下の対策をとってください。

一、避難区域を拡大し、危険な汚染地帯から誰もが避難できるようにしてください。

二、特に、放射線の感受性が高い子どもたちを守るため、学校ぐるみの疎開を行ってください。

三、自主的な避難や疎開を行う者への経済支援と補償を行ってください。

四、子どもたちを安全な場所に移した後、福島県内すべての学校および地域の詳細調査と除染を行ってください。そして、疎開した子どもたちがもう一度故郷へ戻れる計画を立ててください。

五、大人よりも厳しい放射能濃度基準による給食を行うなど、考え得る限りの内部被ばく防護策を行ってください。

六、その他、子どもたちに対するあらゆる被ばく低減策を実施してください。

以上